

生涯を通して庶民の立場・アジアの心を大切に
し、反核平和に貢献した政治家・歴史研究者

故・吉岡吉典さん

(元参議院議員)



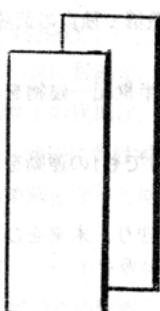
三月一日に民族独立を求めて、大衆運動を朝鮮全土にくり広げた記念の日です。この平和的デモに対して日本軍は残酷な弾圧をしたのです。その九十周年を記念するシンポジウムで、吉岡吉典さんは、朝鮮・韓国人民の誇るべき伝統を語り、日本側の歴史認識を確かなものにすることによって両国人民の連帯を強めることを訴え、韓国人たちに感動を与えたそうです。そしてこのシンポジウムのあとでの宴会のときに倒れて急逝されたのです。

吉岡吉典さんの生涯は日本共産

党員として出生地の島根県での活動に始まり、上京したのちは参議院議員として国会で働き、赤旗編集局や党幹部会で、またいろいろな大衆団体のなかで活動してきた八十年でした。

また、この活動の中で近現代史の研究を続けてきました。それは一貫して、平和を守り、庶民の立場に立った歴史研究でした。そしてアジア、とくに韓国・朝鮮の人たちの心を大切にしてきました。

吉岡吉典さんは今年(二〇〇九年)三月一日、韓国のソウル市で亡くなりました。八十歳でした。この日、韓国では「三・一朝鮮は、一九一〇年に日本の植民地にされた朝鮮の人たちが一九一九年



(梅田欽治／宇都宮大学名誉教授、
田中正造を現代に活かす会・代表
世話人)

ボジウムで「東アジア共同体の発展に田中正造を活かす」という講演、二〇〇八年七月には下町人間アジア共同体と日本国憲法」という講演をしていました。

来年は、日本が朝鮮を植民地にした「韓国併合」から一〇〇年になります期待されるとき、真に残念なことです。ここに下町人間庶民文化賞・特別功労賞を贈り、吉岡吉典さんを偲びたいと思います。